

令和 7 年度
岩手県立沼宮内高等学校第 2 回学校運営協議会
議事録

1 日時

令和 7 年 11 月 26 日（水）14：35～16：30

2 会場

沼宮内高校会議室

3 次第

（1）開会（副校長）

（2）会長あいさつ

- ・本会は、運営方針の確認のため、学校を支えるために実施します。沼宮内高校は、インターハイでのホッケー男子準優勝、国民スポーツ大会優勝と大活躍しています。また、学校の紹介として学校案内パンフレットの刷新、PR 動画の作成と学校の取り組みに感謝します。町としても高校魅力化を応援します。

（3）校長あいさつ

- ・昨日から 2 年生が関西方面へ修学旅行に行っています。ホッケー部男子は、インターハイ準優勝、国民スポーツ大会優勝と活躍しています。また、いわて留学関係では、青森、新潟、東京、神奈川、大阪（奈良在住）、栃木から 6 人の中学生、保護者が来校しています。東京フェスにも参加し、学校を紹介して来ました。町の支援と地域の協力に感謝します。

（4）協議

ア 学校概況説明

（ア）行事、部活動等報告（副校長）

主な行事、部活動大会等の状況について説明

追加：11 月

- ・男子ホッケー部 U18 日本代表（佐々木大輝・佐藤優也・藤原悠真）：ミルナワンカップ（マレーシア）準優勝
- ・男子ホッケー U21 日本代表（藤原悠真）ジュニアワールドカップ出場（インド）

補足：校長より

- ・将棋部の指導者として、同窓生の笹久保幸男さんに指導をいただいている。

（イ）中間反省（各主任）

総務部

- ・PTA 活動について、体育祭おふるまいで多くの保護者の参加を得て、好評だった。
- ・同窓会活動について、理事会と総会を別日程で開催し、総会は昨年以上の参加をいただき、盛況だった。また、沼高祭では、PTA と合同でトルネードポテトとコーヒーを販売し、2 年生の総探授業のラーメン提供に協力いただき、大好評だった。

教務部

- ・基礎学力向上が第一。入試については、特色入試を実施予定。来年度、教育課程の編成について、3 年 A コースに家庭科学学校設定科目を設定する。（校長補足：科目名 消費生活基礎）
- ・図書について、町の移動図書館を利用した。
- ・note の運用について、高校魅力化コーディネーターが主となり、沼高の良さを発信している。

生徒指導部

- ・生活習慣の指導として、「健全育成講話」、「薬物乱用防止教室」、「性に関する講話」等を実施している。
- ・今年度の 1 年生から自転車用ヘルメットの着用を通学条件にしているので、今後も着用の推進を行う。
- ・健康診断について、治療勧告書を配付してるが、受診率が低い。副食給食に関しては、良好

に推移している。

- ・スクールカウンセリングについて、今年度、私費でスクールカウンセラーを依頼したが、来年度もお願いしたい。

進路指導部

- ・各種進路ガイダンスの実施（ジョブカフェいわてから講師派遣）。事業所訪問、企業説明会を実施した。事業所訪問、学校見学は、来年度以降も取り入れたい。
- ・学力向上のため進学に関する模試代金を教育振興会から支援いただいた。

（ウ）授業評価（副校長）

結果と分析

- ・生徒アンケート結果について、全体では達成指数を上回っているが、一部達成指数を下回っている。「ICT等を活用した・・・」の質問項目について、全体平均値がやや低い。学習時間については、全体的に低い。
- ・職員アンケート結果の「ICT等を活用した・・・」の質問項目については、生徒のアンケート結果同様に低いので、工夫が必要である。

イ 次年度に向けての意見交換

各委員から

久保副会長：本校OGとして就職・進学の指導を支えたい。地域からも評価を得ているので、引き続き指導をお願いします。

田村秀彦委員：Q 県外生徒について、価値観の違いを感じるが、学校の様子を聞きたい。

A 1年生については、交流があり問題なく過ごしている。

田村寿委員：総探発表、トークフォークダンス、事業所見学等活躍している。きめ細やかな指導ありがとうございます。

宮田委員：歯科の受診に関しては、早めの受診を勧めてください。評価に仕方について、学習時間との相関関係を比較しながら検討する必要があるのではないのでしょうか。

高橋委員：小規模校の強みで、きめ細やかな指導ありがとうございます。ホッケー部以外にも頑張っている生徒がいて、しっかり授業を受けている印象でした。

熊谷委員：楽しく生徒と接し、また、いわて留学関連で民泊に宿泊する生徒、保護者に接し刺激を受けています。

佐藤会長：総探の発表について、生徒自身が喜ぶような発表をお願いしたい。

ワークショップ形式（3班）

- ・理想の沼高を目指すためのキャッチフレーズを考える。今日は、理想を目指すためには何が必要で、何ができるかを3つのグループ（A：学校として、B：行政として、C：地域として）で話し合った。
- ・Aグループ（学校として）：「自分らしく、自分の夢を叶えるために」
優しく寄り添うことが大切であり、生徒が夢を目指すための援助が必要である。資金の援助が重要。
- ・Bグループ（行政として）：「生徒が町の行事に積極的に参加する」
すべての生徒が企画から参加するようなシステムを作り、人的な学びの支援をする。
- ・Cグループ（地域として）：「明確な目標を持たせる」
お金、物、人、場所を提供できるようにする。
- ・校長：キャッチフレーズは次回に検討する。

ウ その他

校長：中学校に赴き、岩手町からの支援について保護者に説明している。

（5）その他

第3回は、2月に開催予定

（6）閉会（副校長）